

将来を見据えて活動していきます。

泉川見守り・SOS ネットワークです。

(社協支部・まちづくり連合自治会・民生児童委員・見守り推進委員・老人会が母体の協議会です。)

**みんなの繋がり、支えあいで
住み慣れた地域を歩きたい。**



2025年、あと7年後には、団塊の世代が75歳以上になるという事実があり、認知症は730万人・5人に1人になると予想されています。心配なことはないですか。

住み慣れたこの地域、家で住み続けたいと思いませんか。認知症は病気であるとの理解を深め、みんなが気持ちよく接する環境を広め、認知症について相談し合える、繋がり、支えあいがある地域づくりが必要です。

将来を見据えて「泉川見守り・SOSネットワーク」は考えていきます。

泉川見守り・SOSネットワークが取り組んでいくこと



おはようございます。

(1) 日常の挨拶や声かけの輪を広げます。

大人も子供も笑顔であいさつできる泉川にしたいのです。もし、ちょっと様子がおかしいと思われるお年寄りと出会ったとき、「こんにちは、どちらまで行かれますか。」と一言声かけできる人を増やしていくことが大切と考えています。



何かお困りですか。

(2) 「あいサポーター」登録者を増やします。

検索依頼が出たとき、メールにより情報を発信して検索する「あいサポーター」の登録をお願いしていましたが、地域内での検索には「広報塔」で検索依頼を知り協力していただけの人を増やすことも大きな力となると考えます。広報塔での検索していただける方も「あいサポーター」として登録していただくことにしました。

(3) 認知症について理解を深めていきます。

「認知症サポーター養成講座」は約1時間の研修講座ですが、自治会単位、各団体単位で講座開催を計画していきます。日程が決まればお知らせしますのでご参加ください。

広報塔やメールによる「あいサポーター」の募集について。

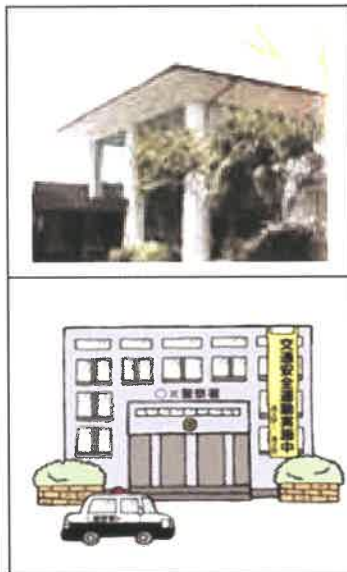
行方不明者が出たとき、事務局より広報塔やメール配信により情報を提供します。これまでは、メール配信に登録された方を「あいサポーター」としていましたが、広報塔による検索協力者も「あいサポーター」として登録していただくことにいたしました。多くの方が登録し、地域を支えあう一員になっていただきたいのです。

※登録しても特別なことはありません。できる範囲での活動で十分です。検索以上に日ごろの挨拶や声かけが増えて行くことを期待しています。

おじいちゃんがない。
おばあちゃんがない



事務局ふたば荘・警察
に検索依頼を出します。



地域の広報塔、メールで
検索を依頼します。

さがしています。

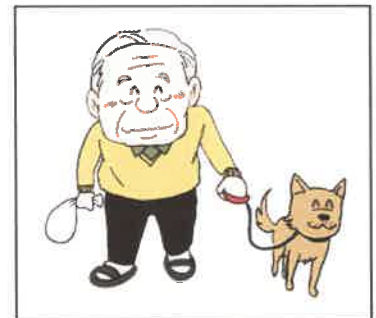


○広報塔により検索に協力する「あいサポーター」（住所、氏名、電話番号）登録は、自治会等を通して随時行います。

高校生も登録できます。

○小・中学生は学校で「認知症サポーター養成講座」を勉強しています。

メールや、広報塔からの要請で検索に協力します。



【お問い合わせ先】 泉川見守り・SOSネットワーク協議会事務局 ふたば荘（担当 真木 新

【受付時間】 9:00～17:30 新居浜市船木 959-3 [TEL]0897-40-1661 [FAX] 0897-40-0515

【E-mail】 izumi-sos@mx52.tiki.ne.jp

（保存版18/02 4000）